

Team No. **6**

Team No.6

第1分科会
学生の主体的な学びを支援するための学生情報の活用

1

テーマ

Team No.6

第1分科会
学生の主体的な学びを支援するための学生情報の活用

2

学生情報の活用における現状と課題。その解決策と期待される効果。

Team No.6

第1分科会
学生の主体的な学びを支援するための学生情報の活用

3

学生カルテと
ポートフォリオ
導入

Team No.6

第1分科会
学生の主体的な学びを支援するための学生情報の活用

4

学生支援の現状

Team No.6

第1分科会
学生の主体的な学びを支援するための学生情報の活用

5

既存学生 支援情報

利用シーン

出欠管理
退学予備軍の早期発見
成績不振者の修学指導
教職員間の情報共有
キャリア指導
メンタルケア



現場の問題

クラス担任が学生の成績を把握していない
クラス担任が履修科目・卒研科目の把握ができていない
キャリアセンター以外、進路希望情報が分からない
学生の個別対応の方法がわからない（心の病など）
教職員間の情報共有ができない
学生と連絡が取れない
学生自身が学習成果の把握ができていない



Team No.6

第1分科会
学生の主体的な学びを支援するための学生情報の活用

6

学生カルテと ポートフォリオ を導入

Team No.6

第1分科会
学生の主体的な学びを支援するための学生情報の活用

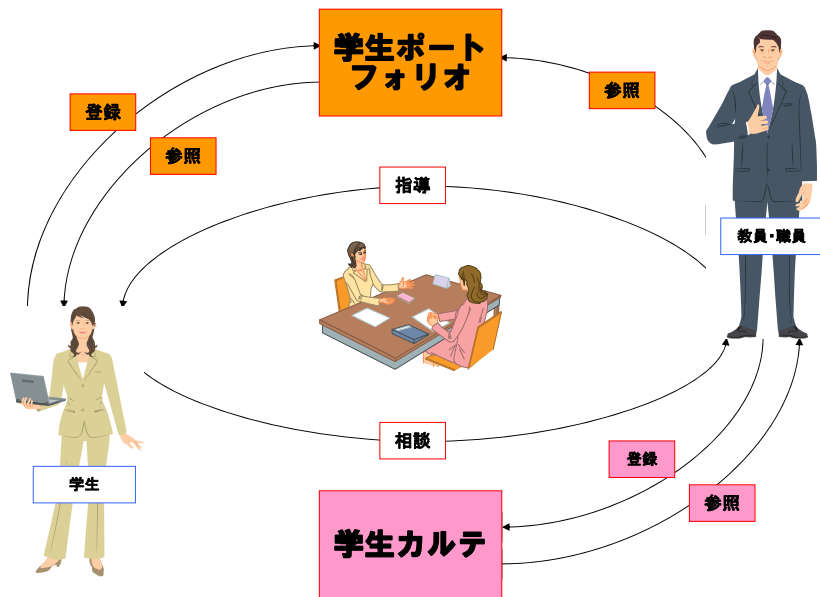
7

学生カルテ ポートフォリオ 運用スキーム

Team No.6

第1分科会
学生の主体的な学びを支援するための学生情報の活用

8



Team No.6

第1分科会
学生の主体的な学びを支援するための学生情報の活用

9

学生カルテ

教員・職員による
学生指導記録情報
学生生活を支援する
大学教員・職員が使用する
学生情報

学生ポート フォリオ

学生自身による
自己管理情報
学生自身が中・長期の
キャリアビジョンを
プランニングする計画表

Team No.6

第1分科会
学生の主体的な学びを支援するための学生情報の活用

10

- ・ 管理情報の共有・一元化
- ・ 情報登録範囲の検討
- ・ 学生情報の管理範囲の検討
- ・ 使用対象者の活性化施策
- ・ 継続的な情報登録

課題

Team No.6

第1分科会
学生の主体的な学びを支援するための学生情報の活用

11

期待する効果

大学の教職員のスキルアップ
⇒大学のレベルアップ

学生の共有情報が閲覧できる
教職員が全員一つの情報が見られる
学生情報を活用することで教職員の意識向上

学生の「学士力」が高まる。

学生の自己管理・自己成長・自発的行動が得られる
学生の修学満足度の向上

Team No.6

第1分科会
学生の主体的な学びを支援するための学生情報の活用

12

学生一人一人の ニーズに合った 大学教育の**実現**

Team No.6

第1分科会
学生の主体的な学びを支援するための学生情報の活用

13